

東大和市子ども・子育て支援会議 第4回議事録

会 議 名	平成25年度 第4回 東大和市子ども・子育て支援会議
開 催 日 時	平成26年1月20日(月) 14:00～15:30
開 催 場 所	東大和市役所会議棟2階 第7・8会議室
委 員	(出席者)佐々木委員、網干委員、伊藤委員、寺山委員、水上委員、上田委員、坂本委員、片野委員、山本委員、廣澤委員 (欠席者)杉本委員
事 務 局	榎本(子ども生活部長)、高杉(子育て支援課長)、渡邊(保育課保育・幼稚園係長)、原(子育て支援課手当・助成係長)、恵良(子育て支援課子ども・子育て支援担当)
傍 聴 者	2名
会 議 次 第	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議事 (1)東大和市子ども・子育て支援ニーズ調査の結果について (2)教育・保育等の見込の量について (3)教育・保育の提供区域の設定について (4)その他 4. 閉会
配 付 資 料	[事前配付] 資料1 東大和市子ども・子育て支援事業計画(構成骨子案) 資料2 教育・保育等の量の見込みについて 資料3 教育・保育の提供区域の設定について 中間報告 東大和市子ども・子育て支援ニーズ調査中間報告 (未就学児編、就学児編) [卓上配付] ・当日配布資料:東大和市子ども・子育て支援ニーズ調査(中間報告)正誤表 ・参考資料:ニーズ調査地区別集計表 年齢別人口統計表
会議の結果及び主要な発言	
事務局 副会長	1. 東大和市子ども・子育てニーズ調査の結果について (中間報告を説明) 満足度の理由については把握したいところである。また、中間報告はじっくり読まないといけないだろう。
会長	この調査結果は、最終的に分析を含めた形で出てくるのか。
事務局 副会長	今年度中に、調査結果の最終報告と概要版を作成する。 最終報告を見て、会議で報告内容について議論する時間は取れるのか。
会長	審議は難しいだろう。それより、調査結果を受けて、どのような計画にするかの内容になる。
副会長	他の自治体では、クロス集計や文章の検討を行っているが、例えば、こことここをクロス集計してほしいということは言えるのか。
事務局	現時点で言うのであれば、報告書に盛り込むことは可能である。また、3月の会議で報告書案を示し、それで確定させることでよろしいか。

副会長	なるべく早く出してもらえると良い。
会長	その辺は事務局に検討していただく。また、最終報告書は市民にも公開されるのか。
事務局	5月の市報に掲載を予定している。また、ホームページでも公開する予定である。なお、自由意見もカテゴリー別にまとめて報告書に入れる予定でいる。
委員	今後、市で生み育てるかという質問に、半数近くが思わないと回答しているが、この理由を知りたい。それにより、どのような支援を行って行けば良いかが分かると思う。
事務局	その質問の次に自由意見があり、付け合わせをすれば理由は理解できると思うが、自由意見は相対的な見方でまとめさせていただきたい。
委員	以前いただいた資料で、自由意見で多い意見をまとめた資料があったが、このように明確に示し、市で汲み取ってもらい安心した。これが、支援につながっていければありがたい。
	2. 教育・保育等の量の見込について
事務局	(資料1、資料2を説明)
会長	詳細な集計の方法が遅れている。これが示されないと、作業ができない状況である。
副会長	他の事項についても内閣府で会議しているが、スケジュールは遅れているし、まだどうなるか分からない状況にある上で、制度をスタートされるのが懸念される。制度が決まってから1年くらいの猶予がないと、施設側は決められない。
会長	この支援会議に関わる重要な部分が国から示されておらず、遅れている状況にあることは各委員に認識しておいてもらいたい。
部長	東大和市に合った計画となるよう、納得できる計画となるよう、この会議で議論いただいて策定するように努めていきたい。
	3. 教育・保育等の提供区域の設定について
事務局	(資料3を説明)
会長	東大和市は地勢や面積、人口もコンパクトにまとまっている市である。
副会長	一度、持ちかえって検討したいが、基本的に1区域が良いだろう。その時代によって建物が建つ場所は移ってくる。今ここに作っておけば大丈夫としても、数十年後には空白地域になる場合も有り得る。柔軟に対応できるようにしておいた方が良い。
会長	東大和市は南西地区が人口増加の傾向にあり、ニーズがあるだろうが、子どもが成長してニーズが少なくなり、今度は異なる地域でニーズが高まるなど、変動することが予想される。その辺を考慮する必要がある。区域について持ちかえって検討し、次回に固めるとしたい。
副会長	ニーズ調査を見ても、いろんな対策や考え方があろうと思う。
会長	ハードを強化するよりも、ハードを活かすソフト機能を強化する対策の方が良いと考える。
委員	1区域として考えた方が良い。区域を小さく分けると、新たにやらなければならないことも出てくる。全体的に見れば、バランスや平等性が保たれるのではないかと。
委員	1区域が妥当ではないか。細かくした場合、市としてもそこに何か作らなければならないとなるだろう。東大和市の住民は、自動車を持っている人も多い。
	ただし、徒歩や自転車の場合もある。その場合、駐輪場や空き店舗の活用などのソフト面を考える必要はある。しかし、ハード面で見れば1区域が良い。
委員	現在は人口増加の傾向にあるが、長いスパンを考えれば1区域で、利用しやすい環境が整えられれば良い。

委員	コンパクトな市であるため、1区域として全体を捉え、利用しやすくなれば良いのではない か。
委員	1区域が良いと思う。小学校の児童数も変動している。目の前にある問題に対処するだけ ではなく、全体として、長いスパンで考えた方が良い。細かく区域を分けると融通が利かない 場合もある。住民の多くは車を持っているが、自転車の人なども考えてソフト面を強化してい けば良い。一時保育でも、不公平感が解消できるようになれば良い。
委員	市内で1区域が良いと思う。うまくバランスが取れて、待機児童が少なくなれば良い。一時保 育も増えていけば良いと考える。学童保育所を午前中に一時保育で使用できればということ も考えている。
委員	市全体を1区域で良いのではないか。柔軟に対応できる半面、利便性でデメリットはある が、ちょこバスを増やすなど、それらの課題を克服していけるようにしていければ良い。
会長	最終的には、次回の会議で決めていきたい。
	4. その他
事務局	(保育申し込み、人口動向、議会、施設整備等の市の動きの説明と報告)
会長	今年度中に第5回目の会議を行いたい。日程等は後日、お知らせしたい。 これで、第4回の会議を終了する。